

75φガード柵 施工の手順

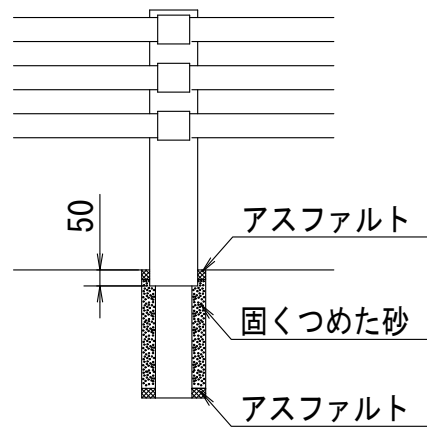
※作業前に所定の材料部材がそろっているか確認してください。

警告

- この柵は歩道用CP種又はBP種同等の強度を有していますが、他の用途には使用できません。
- 可燃性の材料ですので火気や野焼きで燃える恐れがあります。材料の近くで火を使用しないで下さい。

注意

- 支柱を土中に設置する場合
 - 予め掘った穴に支柱を設置した後埋め戻す場合
支柱が沈下しないように、設置穴の低部を十分に突きかためて下さい。
埋め戻し土の一層の厚さは10cm以内にし、十分に突きかためて下さい。
 - 支柱を打ち込む場合
設計図に示された位置に、支柱頭部に損傷を与えないように打ち込んで下さい。
- コンクリート中に設置する場合
 - コンクリート打設前に、設計図の位置に配置して下さい。
 - 穴の周りには補強筋を配置し、下をアスファルトでシールし、周囲を砂でかたくつめ、上をアスファルトでシールして下さい。

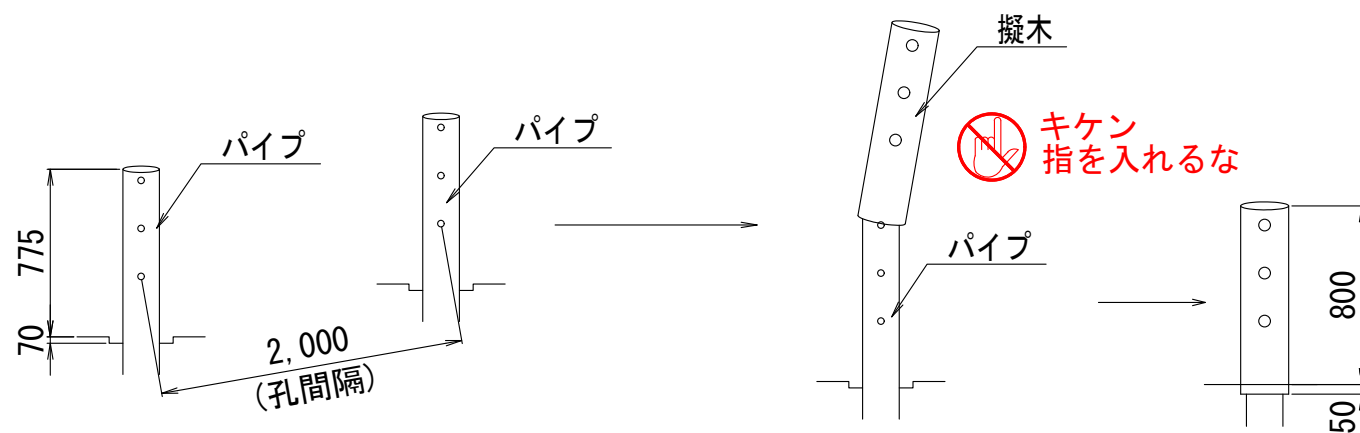


※コンクリート中設置の場合は
アスファルトと砂で支柱を固定する。

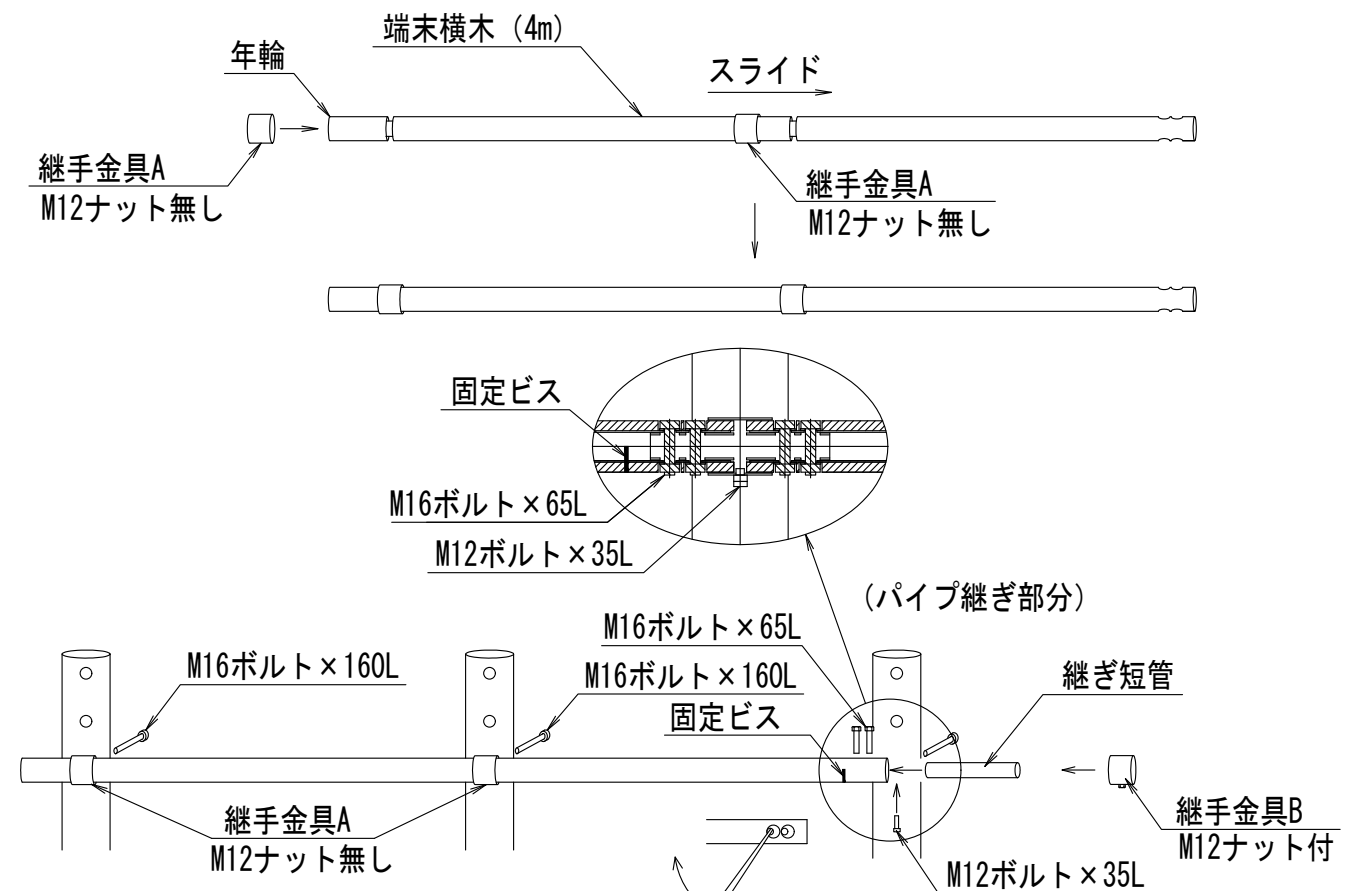
準備工具類

- ラチェットレンチ 24mm 2丁 **注意**
- ラチェットレンチ 19mm 1丁
- プラスドライバ又はインパクトドライバ (#2)

支柱用パイプを2m間隔に設置する → 擬木をかぶせる



注意 傾斜地やカーブ等に本柵を設置する場合は、必ず支柱用のパイプの孔間隔が直線距離で2000mmとなるように建込んで下さい。
支柱が正しい位置に立たない場合は横木取付が出来なくなります。



<孔位置の合わせ方>
孔横（下側）の固定ビスを緩めると簡単にずらせます。

注意

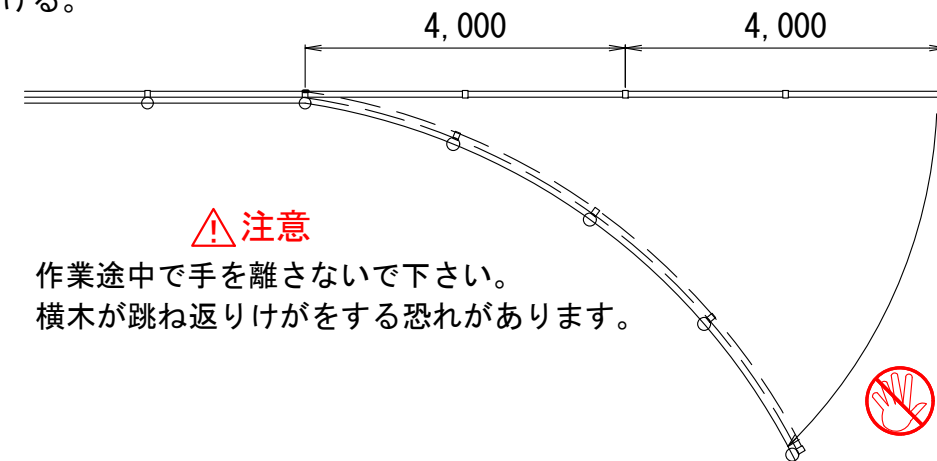
孔位置の合わせが不十分ですと工具が入らなくなります。

<カーブの曲げ方>

支柱が動かないように固定する。
横木を先に2本程度繋いでから
支柱に取り付ける。

注意

支柱間隔の建込誤差で取付ボルトが入り難くなります。
支柱孔方向を調整の上、取り付けてください。



注意

作業途中で手を離さないで下さい。
横木が跳ね返りけがをする恐れがあります。

注意 手を離すな

注意 この表示を無視して、誤った施工や誤った扱いをしますと、機能が十分発揮できなかつたり、作業が難しくなることが予想される内容を示しています。